

- ・町会や空き店舗等を活用した介護予防の取り組みについて
- ・三河島駅前北地区再開発における基本構想の策定について
- ・再開発に際し防災・減災の視点を取り入れることについて

共産党
横山 幸次 委員

- ・福島原発事故を踏まえて原発ゼロを目指すことについて
- ・消費税増税に対する認識と区の施策への影響について
- ・子どもの貧困に関する認識と区が開始する事業について

公明党
中村 尚郎 委員

- ・歳出決算不利益分析表のさらなる活用について
- ・セメントサイロ跡地活用とJRN南千住駅北口改札設置について
- ・将来の転用も踏まえた保育施設の整備について

民主・市民
竹内 明浩 委員

- ・学校選択制度の新年度からの見直しの概要について
- ・弊害の多い学校選択制度の廃止について

元気クラブ
斉藤 裕子 委員

- ・まだやるのか？三河島北地区再開発と西日暮里駅周辺再開発

日本創新党
小坂 英一 委員

- ・避難所の暖房機器設置と協定による民間物資の活用について

正論の会
浅川 喜文 委員

- ・震災時重要な危機管理監の区内居住と、議会と区民への周知を
- ・道幅の狭い道路への路側帯設置の必要性について

予算の審査経過

- 2月27日
一般会計予算
○予算大綱説明(副区長)
○総括質疑(8会派)
※主な質問項目は別掲
- 2月28日
○歳出審査(議会費・総務費)
○歳出審査(総務費)
3月3日
○歳出審査(総務費)
3月4日
○歳出審査(総務費・民生費)
3月6日
○歳出審査(民生費・衛生費)
3月7日
○歳出審査(衛生費・環境清掃費・産業経済費・土木費)
3月10日
○歳出審査(土木費・教育費)
- 3月11日
○歳出審査(教育費・公債費・諸支出金・予備費)
○歳入審査(一括審査)
○締めくくり総括質疑(8会派)
※主な質問項目は別掲
- 採決
修正案(共産党提出)
採決の結果 否決
修正案(日本創新党、正論の会提出)
採決の結果 否決
原案
採決の結果 可決
国民健康保険事業特別会計予算
後期高齢者医療特別会計予算
○審査
○採決 採決の結果 可決

平成26年 区長の施政方針説明

(一部抜粋要旨)

平成26年第1回定例会の開会に当たり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。

区長就任後、これまでに千に迫る新規・充実事業を実施するとともに、積極的に、他自治体に対し働きかけを行ってきました。その具体的な取り組みが、「荒川区民総幸福度」の研究です。昨年6月には「幸せリーグ」が設立され、各自治体が切磋琢磨し、真の意味で地方分権を担える基礎自治体となることを目指します。そして私は、26年度を、荒川区の確かな未来を築くためのチャレンジの年とすることを決意しました。一つ目は、首都直下地震への備えであり、首都直下地震対策特別措置法制定への働きかけや、永久水利施設の

西川区長から、2月19日の定例会初日の本会議において、施政方針説明が行われました。



平成26年度予算をどう評価する

3月17日の本会議において、平成26年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

健全な財政を維持しながら、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分した予算を評価

自民党

平成26年度一般会計予算について、賛成の立場で討論する。我が国の景気は緩やかに回復しているとの判断が示されているが、区内、区内企業に景気回復の効果があがっていると、言い難い状況であり、課題は山積している。自由民主党荒川区議会議員団は、この認識の下、区民生活の向上と安全・安心に暮らせる荒川区を目指し、6つの重点項目を始めとした、約300の事項について積極的に推進しようとする。この要請を踏まえ、区は、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分する一方、内部努力のさらなる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図っている。この結果、今後の行政需要に対応するため中長期的な視点で健全な財政にすべきとの決意で、抑制できるものは可能な限り抑制する一方、我が党が要望した重点施策等を推進するための新規事業やレベラアップ事業が積極的に組み入れられた予算を高く評価する。

以上、予算の主要施策は、いづれも緊急的、長期的双方の視点から優先順位を付け、予算化したものです。区が一層のサービスの充実を図っていくためには、職員一人ひとりがそれぞれの立場で前例にとらわれず果敢にチャレンジすることが極めて重要です。私は、全職員の先頭に立ち、常にチャレンジし続け笑顔あふれる荒川区を実現していく決意です。

全小中学校へのタブレットパソコンの本格導入に当たっては、モデル事業の検証を始め、研修の実施や指導指針の策定など我が党が指摘した課題を受け止め、効果的な活用に向けた取り組みを積極的に進めるよう要望する。

子育て支援では、待機児童解消に向けた保育施設の整備や病児保育事業の開始、放課後子どもプラザの拡充などを高く評価する。福祉関係では、就労就労支援の充実として、就労訓練のメニューの充実や企業等への雇用・発注の促進等の経費が計上された。産業振興では、小規模事業者が行う設備投資等に対する補助金やプレミアム付き区内共通お買い物券の発行支援等を評価する。

これらの他にも、我が党議員が予算特別委員会で行った意見や提案を真摯に受け止め、区政に反映させるよう求める。新年度の予算執行に当たっては、効果的運用を行い、区民の幸福実感の向上に一層努力していただくことを強く要望し、賛成の討論とする。

主な施策について述べると、震災対策では、不燃化特区整備促進事業が拡大し、永久水利を活用した地域消防体制の構築や災害時要援護者施設への情報伝達体制の充実等、ハード・ソフトの両面で、全力で取り組む内容となっている。

施設建設では、荒川二丁目複合施設の建設工事に着手し、28年度開設に向けた準備が進んでいる。

